

報告

北海道がん対策「六位一体」協議会 要望書手交

日程：平成28年10月28日（金）

会場：知事公館、北海道議会庁舎、札幌市役所

会長 長瀬 清

(北海道がん対策「六位一体」協議会会長)

「患者が望むがん対策～全国で2番目に高い死亡率を下げるために～」をテーマに、北海道がん対策「六位一体」協議会(当会も構成団体として参画)の主催で7月に開催した「北海道がんサミット2016」での意見等をまとめた要望書を、近藤協議会副会長、がん患者代表者(協議会委員)とともに、高橋はるみ北海道知事、三井あき子北海道議会副議長、秋元克広札幌市長にそれぞれ手交した。

要望事項は①がんの予防、②がんの早期発見、③がんの診断と治療、④緩和ケア、⑤患者への相談支援・情報提供、⑥患者の就労、⑦普及啓発とがん教育の7項目。「受動喫煙防止条例の制定、検診率向上、がん基金の有効活用、企業との連携など」について重点的に取り組み、がんによる死亡率を下げるよう要望した。

はじめに

国の推計によると、日本人の2人に1人が生涯のうちに「がん」に罹るとされています。北海道でも、がんによって亡くなる方は全体の3割以上で死亡原因の第1位となっており、都道府県別で比べると2番目に高い死亡率となっています。

一方、医療技術の進歩などにより、がんは、不治の病ではなくなりつつあり、がんに罹っても、約半数の方は治っているというデータもあります。

国においてはがん対策基本法(平成18年法律第98号。以下「基本法」という。)及び基本法にもとづくがん対策推進基本計画を策定し、がん医療はもとより、がん予防及びがん患者等の支援も含めた総合的ながん対策を実施しています。

また、北海道も基本法にもとづく北海道がん対策推進計画を策定し、がん予防やがん患者等の支援を掲げ、実施主体として市町村の役割を示しております。

これらを受け札幌市においても次年度から始まる初のがん対策推進プラン(仮称)を本年度中に策定することになっています。

北海道がん対策「六位一体」協議会は、北海道におけるがん医療・療養生活の均てん化を図るため、患者や家族、医療提供者、行政担当者、議員、企業関係者やメディアが個々の組織の枠を越えて一堂に会し、がん対策の関連情報の提供を行い、他地域からのがん対策好事例などを学び北海道のがん対策の向上を目指すことを目的として設立されました。

その取り組みのひとつとして、六位一体でがん対策の土台を作り、がん対策の現状と課題を多くの人で共有し、当事者が望むがん対策の実現に必要な施策を考えるための場として平成28年7月24日に「北海道がんサミット2016」を開催いたしました。

この要望書は、本サミットにておこなわれたグループワークにより、「本道のがん対策における問題点」、「患者にとってあるべき姿」、「必要な対策・施策(誰が・何を)」の3つの視点から議論を重ねて出された意見のうち、今後、北海道や市町村が策定する計画のなかに盛り込むべき事項を取りまとめたものです。いち早く計画等に反映していただき、一刻も早くがん対策が進むこと、それにより北海道のがん死亡率を下げることを要望いたします。

平成28年10月

北海道がん対策「六位一体」協議会

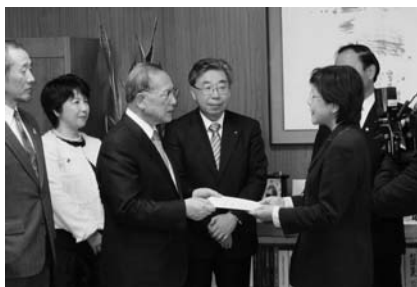
会長 長瀬 清

【北海道がん対策「六位一体」協議会構成団体】

グループ・ネクサス・ジャパン北海道支部、ピンクリボン・ディスカバ、がん対策北海道議会議員の会、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、北海道がんセンター、北海道対がん協会、北海道医師会、北海道文化放送(UHB)、北海道新聞社、札幌市、北海道



高橋はるみ 北海道知事



三井あき子 道議会副議長



秋元克広 札幌市長